

子どもの本だな 57

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

### くんちゃんのもりのキャンプ

ドロシー・マリノ さく  
まさき りりこ やく (ペンギン社)

ある日、こぐまのくんちゃんはいとこのアレックとキャンプに出かけました。森のこみちで巣を作っているコマドリ、泳いでいるアヒル、魚をとっているカワセミに会いました。湖のほとりにつくと、くんちゃんはコマドリのように木の上にベッドを作りましたが、真夜中ベッドはくずれおちました。次の朝、くんちゃんはアヒルのやり方で泳ごうとして沈み、カワセミのやり方で魚をとろうとしてもとれません。アレックみたいにくまらしくすると、なにもかもうまくいきました。でも帰り道、道をまちがえたアレックに、くんちゃんは「こっちだよ」と来た道を教えて家に帰り着きました。

絵は線画に緑の淡色で表情豊かに描かれ、くんちゃんの行動は子どもには身近で、失敗を笑いながらお話を楽しみます。読んでもらえば4歳から。(西村)

### 名探偵カッレくん

アストリッド・リンドグレーン 作  
尾崎 義 訳 (岩波書店)

スウェーデンの田舎町に暮らすカッレは、名探偵に憧れ、町のパトロールを日課にしています。夏休み、遊び仲間エーヴァ・ロッタの家にエイナルおじさんが滞在することになりました。カッレとエーヴァ・ロッタ、もう1人の仲間アンデスはエイナルと一緒に城跡に出かけました。カッレは、エイナルが地下室のドアを自前の合鍵であけたことに驚き、エイナルの監視を始めました。エイナルが落とした合鍵で城跡に入り真珠を発見。指紋を採取しようと、真夜中、エイナルの部屋にしのび込みますが、植木鉢を倒しエイナルを起こしてしまいました。ピストルを突きつけられたカッレは、夢遊病のふりをしてなんとか家に帰ることができました。

エイナルを追う2人組みに城跡に閉じ込められるなど、ピンチの時も機転をきかせ、観察眼と推理力で悪人たちを追いつめるカッレがいきいきと描かれています。サーカスごっこや「ばら戦争」にあけくれる少年たちが夏休みの街角を駆け抜けます。10歳くらいから。(片木)

7月	8月	7・8月の移動図書館 (いずれも木曜日です)				
12日	9日	塚森 地域内 10:30~10:50	沖代 地域内 11:00~11:20	福地(三反長) 地域内 14:30~14:50	米田 公会堂 15:00~15:20	竹広南 公民館 15:30~15:50
19日	16日			原池団地 公民館 15:00~15:20	山田 掲示板前 15:30~15:50	原 太田東地区農村 交流センター 16:00~16:30
26日	23日	広坂 公民館 10:30~10:50	上太田 公民館 11:00~11:20		太子 ニュータウン 公民館 15:30~15:50	吉福 公民館 16:00~16:30

### お知らせ

#### 一日図書館員を募集

本の整理、貸出や分類など、図書館の仕事を体験してみませんか?

- 日時：7月22日(日) 9:15~18:00
- 対象：小学6年生~高校生
- 定員：3名
- 締切：7月16日(月)

※本人来館の上、窓口で申し込んでください。

『女たちの王国』「結婚のない母系社会」中国秘境のモソ人と暮らす 曹 惠虹 著

秋山 勝 訳 草思社 263頁 2017年12月刊 1,900円 (請求記号) 382.2

雲南省辺境のルグ湖のほとりに住むモソ人は、家長制の中国で、二、三千年も前から母系社会を維持している。家族は祖母を中心に、その娘と母系に連なる子孫で構成される。男性が女性のもとに通う「走婚」という習慣のもと、生まれた子どもは母親のものとなる。結婚がないため、夫や父親は存在しない。男性は自分の母親のもとで暮らし続ける。

シンガポールの法律事務所を早期退職した著者は、自身のルーツである中国を旅するうち、「女人国」と称されるモソ人に興味を持つ。祭りでも知り合った少女の家族に温かく迎え入れられ、二度目の旅で村に家を持つことを決意。小高い丘の上に、松の丸太を組んで建てた家からは、森に囲まれた湖が眺められる。田植え、夏のカエル狩り、秋の豚まつりと、友人から誘いがかかる。村の祭りに友人に言われるがまま民族衣装を着て出かけると、盛装しているのは子どもと著者のみ。その見返りには、子どもたち同様、村長から赤い祝儀袋をもらえた。

育った家庭、職場の男性中心の生活とはちがひ、女性が尊ばれるモソの社会では、そのままの自分が受け入れられ、著者にとつて居心地がよい。一方で、個々の所有物は共同体のものという精神には馴染めきれず、許可なく誰彼と使う車を手放すこともあった。

男女とも相手に縛りがない「走婚」という風習、女性中心の家族のなかでの男性の位置、役割など身近な生活をおし著者の見てきたモソの社会は興味深い。そのため、観光地化されたことで、何千年と続いてきた生活に変化が生じていることは残念な気がする。

(竹内)

7月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

8月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

\*カレンダーの×印は休館日  
 \*■は館内整理日 返却のみ受付 (10:00~17:00)  
 \*開館時間は10:00~18:00 金曜日は20:00まで開館

お知らせ

13歳からの読書会 『農場の少年』を読んで

- 日時: 8月12日(日) 10:30~12:00
- 場所: 図書館 読書会室
- 対象: 中学生以上(要申込)
- 準備: 当日までに本を読んできてください。

『農場の少年 インガルス一家の物語5』  
 (O・ラ・イガ ル・ワルダ - 著 福音館書店)  
 ニューヨーク州北部の農場に暮らすアルマンツ。父親を手伝い、霜でこおりついたトウモロコシの苗に水をかけ続け、子牛をひとりて訓練し、すばらしく大きなかぼちゃを育てます。

地下水

四月から館長になり、次々と初めてのことをこなさねばならず、右往左往しているうちに三か月が過ぎた。こんなに大変とは思わなかった、というのが本音である。

研修も多い。先日受けた人事評価研修では、部下を面接する際の質問について話を聞いた。イエス・ノーで答えられる質問は「限定質問」、それに対して相手の話を引き出す質問は「拡大質問」と呼ばれる。効果的な面接は、部下にできるだけ話をさせるように進めたいので、拡大質問をうまく使うこと。しかし、元々話をする事自体に苦手意識があるので、面接そのものがプレッシャーである。質問を考えているうちに相手の話を聞いてないことになりそうで、本末転倒である。

仕事上では色々な立場があり、自分で経験して初めてその大変さがわかることもある。皆が相手の立場になって思いやることができれば、どこにいても円滑に過ごせるのではと思う。

高校生への絵本講座で、幼い子どもは絵本の主人公と同化して、その体験を自分の体験のように感じるのだから、結末は安心、幸せな絵本を読んであげてほしいと話した。主人公と同化できることは、ひいては他人の立場に立って相手のことを思いやる気持ちにつながるのではないか。大人も子どもも、本を楽しむことよって主人公と同化し、喜びの体験を積み重ねていきたいものである。

(池田)

